

# 環境を汚染するゴミ

38期生

## I テーマ設定の理由

修学旅行で乗鞍高原へ行った時に、オリエンテーリングをした。ポイントを求めて歩きまわるついでに奉仕活動をしようということで、班ごとにゴミ袋を持って、道端に落ちているゴミを拾って歩いた。乗鞍高原はとても自然の美しい所だったので、「どうせそんなにゴミは落ちていないだろう。」と僕は思っていたのだが、とんでもない間違いだった。ゴミ袋が三つ四つ必要になったグループも中にはあった。よくこれだけ落ちていたものだなあと感心した。

それでは僕の家付近にはどれくらいゴミが落ちているのだろうか。僕の住んでいる河内長野市は、どれくらい汚れているだろうか。一口に河内長野市と言っても北は河内長野駅前から南は岩湧山の山頂まで、さまざまである。それぞれの地域に落ちているゴミは、それぞれ違っているだろう。こうした考えが、今回の自由研究をするきっかけとなった。

## II 研究方法

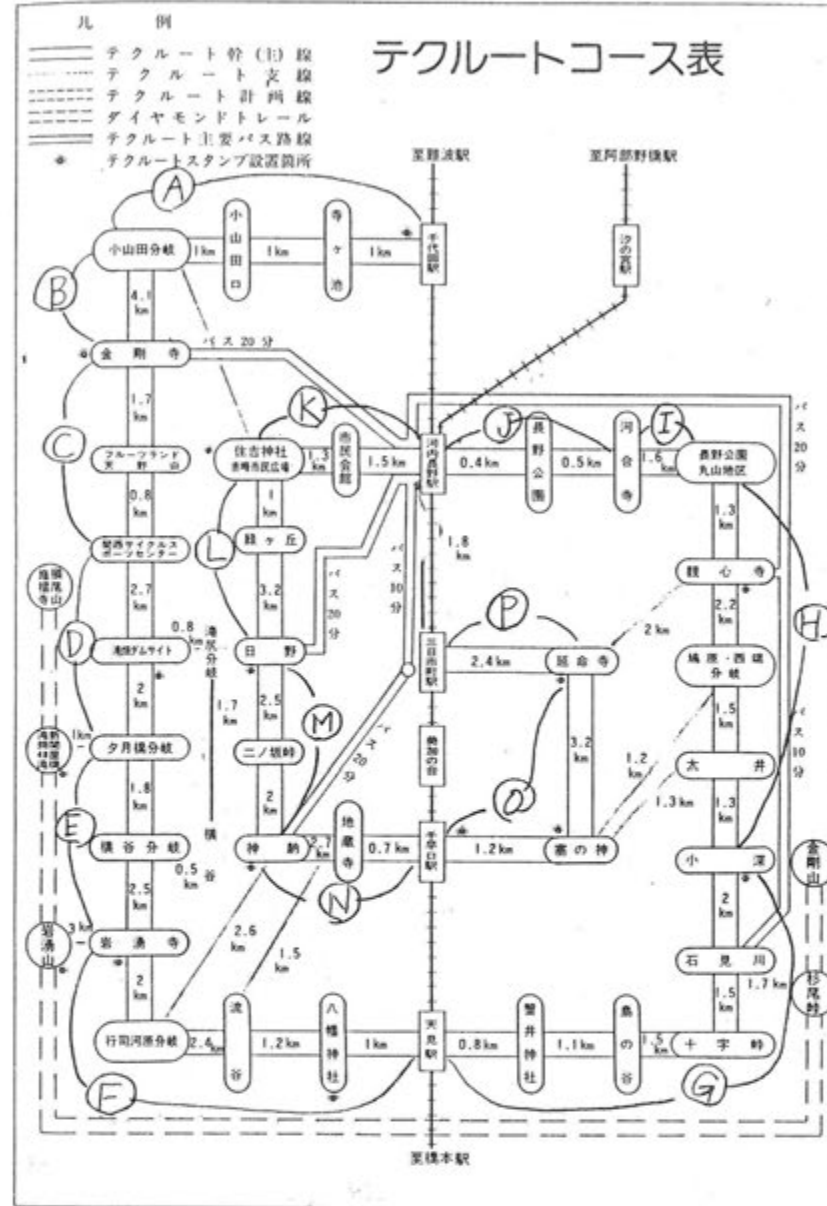
- (1) 河内長野市内の自然遊歩道「テクルート」の幹線を歩き、道に落ちているゴミを拾い集める。
- (2) 地域ごとに拾い集めたゴミを分類して集計する。

## III 研究内容

### (1) テクルートについて

河内長野市産業部商工観工課の「テクルート・コースガイド」というパンフレットには、次のように書かれている。「テクルートとは、市内の文化財、スポーツレクリエーション施設・景観地などを結び、テクテク歩きながら、自然・歴史・文化を探索し生涯学習の場として学ぶ自然歩道です。」このテクルートには幹線と支線があり、幹線は、南海高野線三日月町駅を中心とした渦巻状のコースで市内のほとんどの地域を通過しており、その起点は千代田駅である。幹線の一番外側は、いくつかの支線によって、大阪府と奈良県が合同で作りあげたダイヤモンドトレールに接続されている。また、その他にもいくつかの支線が幹線の要所要所をつなぐように走っている。図1にテクルートのコース表を示す。方角、距離は実際とはかなり違っているが、だいたいの位置関係はあっている。図を見てわかる通り、南海高野線の各駅と南海バスの各停留所を幹線が通過しており、交通の便がよい。今回のゴミ拾いでもこの二つの交通機関をよく使った。

## テクルートコース表



### (2) ゴミ拾いの結果

ゴミを拾い集めた結果を表1に示す。項目について少し説明すると、まず、「ポリバック」というのは、ヤクルトの容器や寿司、サンドイッチ等のバックのことである。「牛乳バック」は牛乳に限らず、飲料の紙製のバックをすべて含む。木製のアイスクリーム用の

テクルートに指定されている道路は林道や農道など交通量の少ない道路が比較的多いようであるが、市の北部や東部の石見川沿いでは国道やバス道路等の大通りもコースに指定されている。またコースのあちこちに道標・路面指標・案内板が設けられていて、歩く人が迷わないようになっている。また、コース中16ヶ所に「テクルートスタンプ」が設置されていて、観光に来た人が楽しめるようになっている。

これらの条件から、ゴミを拾い歩くのに、このテクルートを選んだ。



3 km)

駅前の大通りをずっと歩いて寺ヶ池公園内に入り、池沿いを歩く。公園を出て、小山田荘園の住宅街を通りぬけて小山田分岐に至る。

- (2) B区(小山田分岐から天野山金剛寺までの約4.1 km)

周囲は田と畑だけの平らな農道がずっと続いている。ゴミは非常に少ない。

- (3) C区(天野山金剛寺から関西サイクリスポーツセンターまで約2.5 km)

バス道路の近くの比較的細い道で、きつい上り坂。サイクルセンター付近に大量のゴミが落ちていた。

- (4) D区(関西サイクリスポーツセンターから夕月橋分岐まで約4.7 km)

この区間は全部バス道路で、滝畑ダムへの観光客もあるせいか、非常にゴミが多い。

- (5) E区(夕月橋分岐から岩湧寺まで約4.3 km)

横谷分岐付金までは道が舗装されており、ゴミも多いが、そこから険しい山道に入り、ゴミもほとんど無くなる。

- (6) F区(岩湧寺から天見駅まで約6.6 km)

ほとんどが山道と林道で、距離の割にはゴミは少なかった。

- (7) G区(天見駅从小深までの約6.9 km)

島の谷までは舗装された比較的平たんな道だが、そこから十字峠を越えて石見川までの山道はかなりきつい。そこから小深までバス道路を下って行くが、車でキャンプに来ている人が多くてあまりゴミを拾えなかった。

- (8) H区(小深から長野公園丸山地区まで約6.3 km)

太井までバス道路を下り、そこから林道に入る。鳩原、西端分岐から観心寺までは国道に沿った細い舗装された道を行く。観心寺から再びゴミの多い国道に入る。

- (9) I区(長野公園丸山地区から河合寺まで約1.6 km)

この区間は全部国道の下り坂だが、どういわけか極めてゴミの量が多かった。

- (10) J区(河合寺から河内長野駅まで約0.9 km)

河合寺から国道310号線をしばらく歩いて長野遊園に入り、河内長野駅の東側に至る。長野遊園から駅にかけては人通りの多いせいか、距離の割にはゴミが多く落ちていた。

- (11) K区(河内長野駅から赤峰市民広場まで約2.8 km)

駅前の商店街はゴミでいっぱいだったが、人通りが非常に多くてゆっくり拾っていら



▲写真1 テクルートの道標と集めた大量のゴミ

なかった。それでもこの区間はゴミが大変多く集まった。

- (12) L区(赤峰市民広場から日野までの約4.2 km)

バス道路やら細い車道やら住宅街の中やら、ひどくややこしい所だった。

- (13) M区(日野から神納まで約4.5 km)とN区(神納から千早口駅まで約3.4 km)

ほとんどが林道で、ゴミもそんなに多くなかった。

- (14) O区(千早口駅から延命寺まで約4.4 km)

塞の神までは田園の中の農道で、そこから山道に入り、途中から舗装された林道の下り坂を歩いて延命寺へ。ゴミはそんなに落ちていなかった。

- (15) P区(延命寺から三日市駅までの約2.4 km)

新しく建設された住宅街である清見台と美加台の間の細い道を駅まで歩く。まだ人通りがあるようで、割とゴミは落ちていた。



▲写真2 「ゴミを捨てないように」  
•みんなの手でみんなの郷土を美しく」と呼びかける河内長野市の立札。

#### IV まとめ・考察

表の中でゴミの多い地区を見ると、みなバス道路沿いである。一番ゴミの多いK区は市役所があるのをはじめ市の中心地域であるし、C区とD区は観光地の関西サイクリスポーツセンターや滝畑ダムに近い。I区の道路は金剛山へ登る人や観心寺、延命寺へハイキングに行く人々が、非常によく通る。これらのことから考えて、よその土地から来た観光客が食べたり飲んだりして、ゴミ箱へ持って行くのが面倒なので、ポイッと捨ててしまうようなケースが多いのではなかろうか。表の項目のほとんどが、飲食物に関連したものであるのもこれなら説明がつく。また、地元の人ぐらしか滅多に歩かないような農道、林道にはゴミは少ない。住宅街にも同じことが言える。B区やG区はそのいい例で、距離はI区の何倍もあるのに数字は2桁である。

歩きながら気づいたことだが、ゴミは目立たない所に多い。目立つゴミは誰かが処理するからなのかも知れないけど、それだけではなく、捨てる側が無意識的に目立たない所へ捨てているような気がする。ある意味では、道の中央にゴミを落として平気な顔をしているよりも救いがあるかも知れない。

河内長野市や学校のPTA等は、「ゴミを捨てないように。」と呼びかけている(写真2)けれども、どうもあまり効果は出ていなさそうだ。もっと新しい対策が必要とされている。

#### V 感想

この研究は大変疲れるものだったが、それなりに良いものになったと思う。